令和8年度全国学力・学習状況調査　由仁町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:1校、児童数:30人　中学校数:1校、生徒数:30人

○ 教科に関する調査の状況

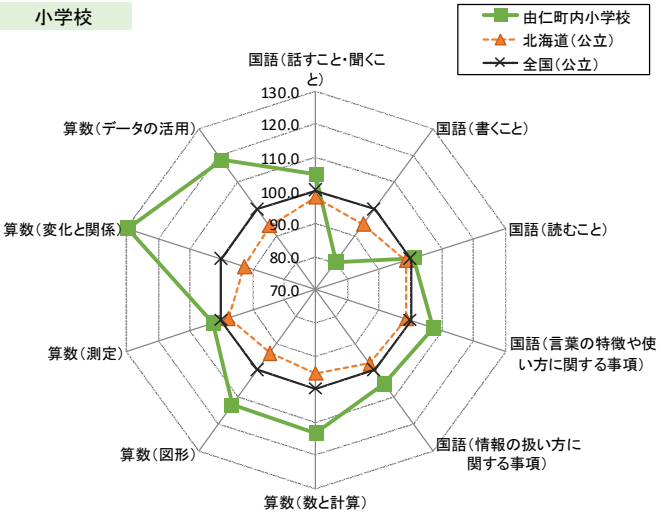
【レーダーチャート】

・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

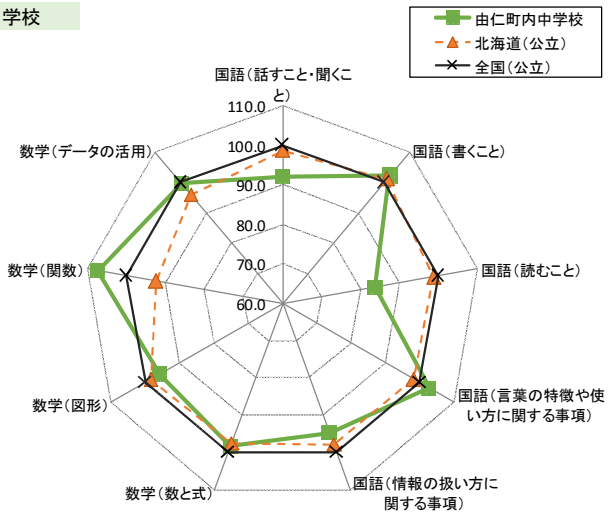
【平均正答率・平均IRTスコア】

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語(4技能)
由仁町	62	65	62	57	504
北海道（公立）	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国（公立）	60.9	56.4	63.9	57.0	499

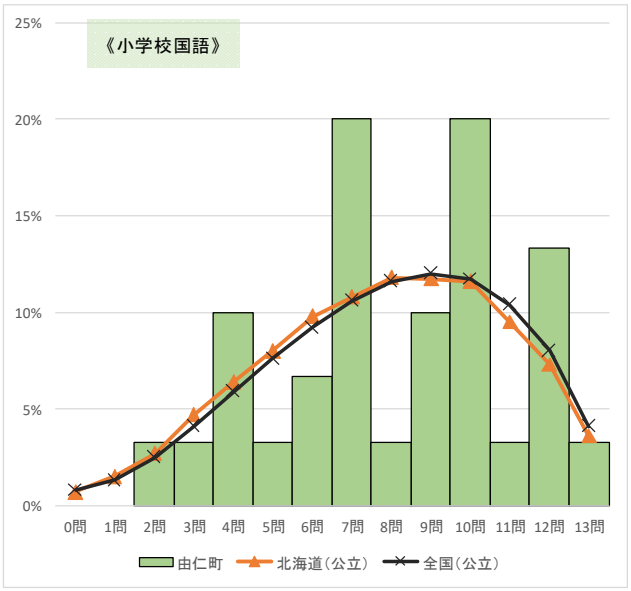
小学校

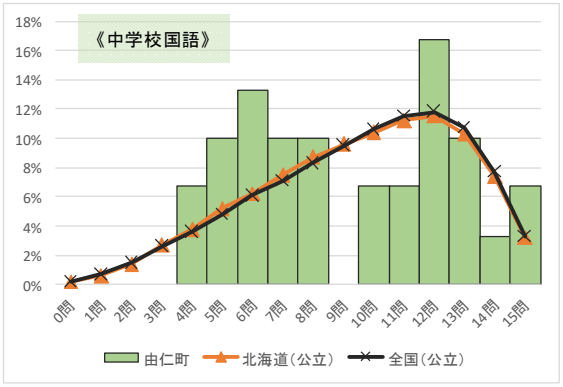


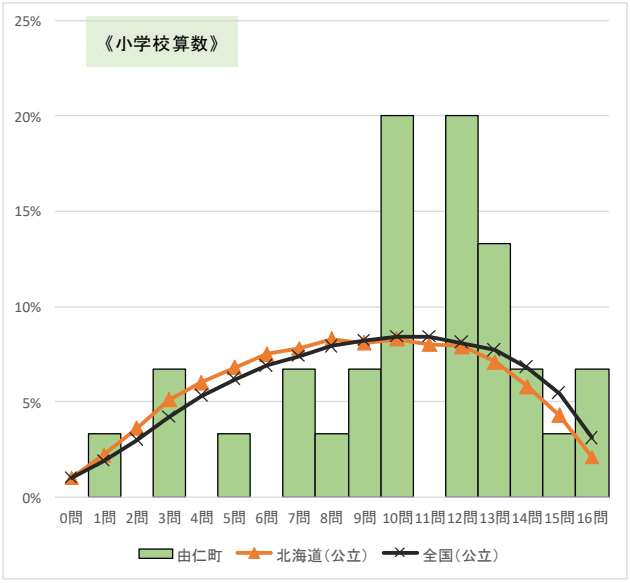
中学校

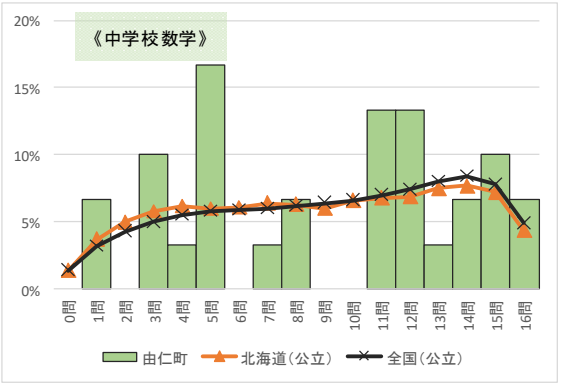


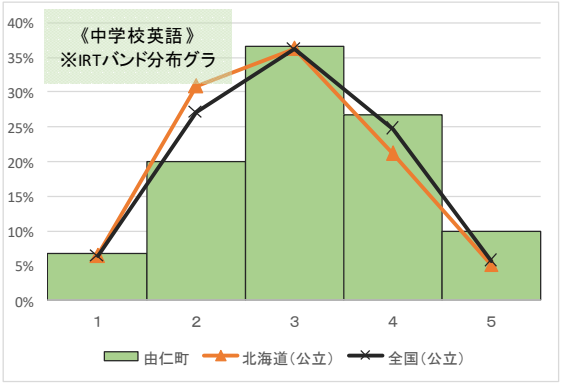
【正答数分布グラフ・IRTバンド分布グラフ】









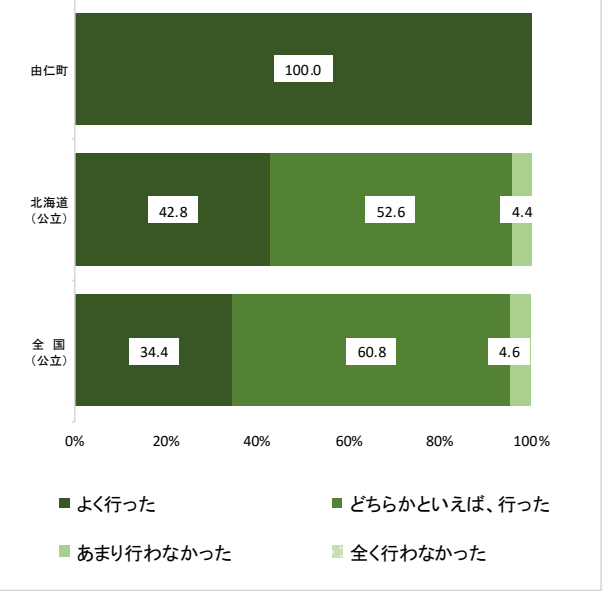


○ 質問調査の状況

小学校

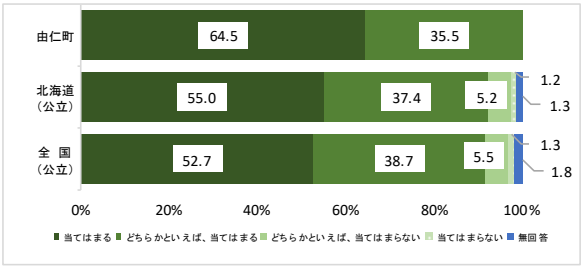
＜学校質問＞

児童がそれぞれの良さを生かしながら、他者と情報交換をしたり、異なる視点から考えたり、協力したりできる学習課題・活動を工夫したか

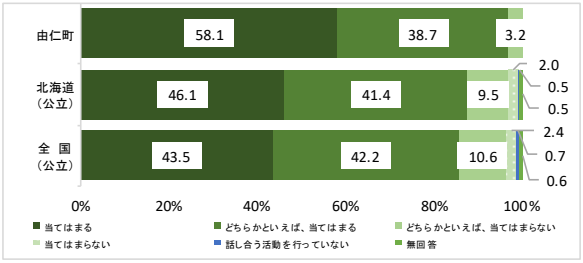


＜児童質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか



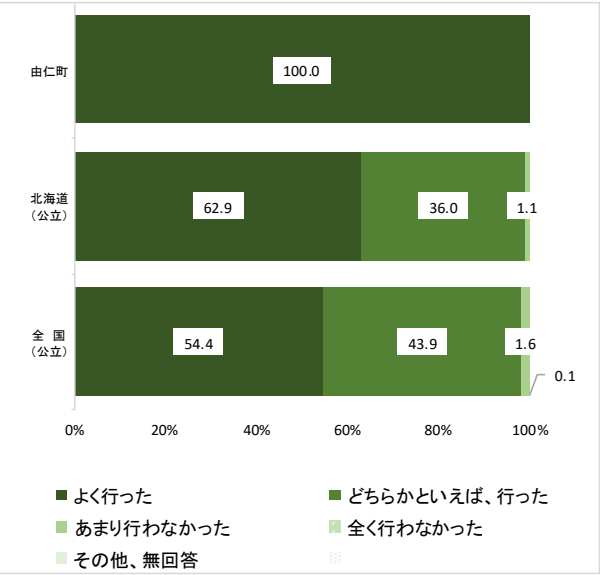
◎調査結果の分析

小学校において、児童の良さを生かしながら他者と情報交換をしたり、異なる視点から考え、協力したりできる学習課題・活動の実施を工夫したことにより、児童自身も他者の考えを大切にし、協力しながら課題の解決に取り組めていると実感できていることが児童質問の結果から読み取れる。また、付随して自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていると感じる児童の割合においても全国及び全道を上回る結果となっている。

中学校

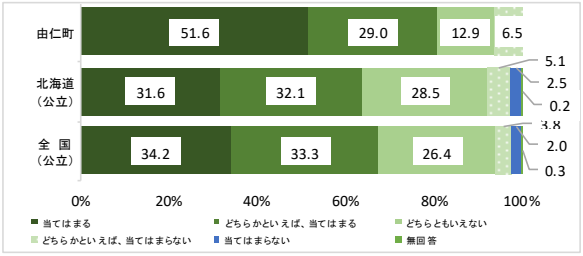
＜学校質問＞

学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

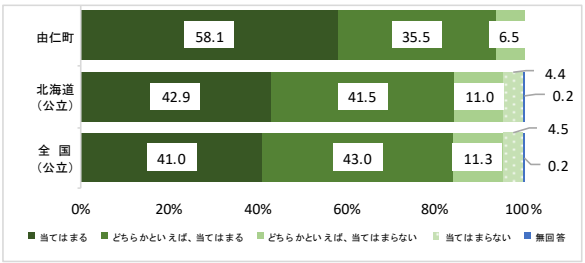


＜生徒質問＞

学級の中で人と違う意見を言っても否定されないと思う



自分にはよいところがあると思う



◎調査結果の分析

中学校において、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する取組を行ったことにより、学級の中においても人と異なる意見を堂々と発言できる自信や自分のよいところを発見できる機会の創出につながっていることが、生徒質問紙の結果から読み取ることができ、学校の取組及び工夫により全国及び全道を上回ったと考えられる。

◎今後の改善方策及び当町での学力向上策

・児童生徒の授業の理解度等に応じた指導方法の工夫・改善を図ることによる一人一人の資質・能力を確実に育成する取組の推進。教科に依らず学習に対する抵抗感の軽減、苦手意識の解消及び主体的な学びの促進

・1人1台端末を活用した持ち帰り学習（デジタルドリル等）による家庭学習の習慣化を図る取組の推進及びICT機器を効果的に活用した学習活動の充実

・外部人材の知識や経験を活かした学力向上策として、小学校での英語力強化授業並びに中学生への放課後及び長期休業期間中における講習の実施